

水田転換畑における秋冬どりネギの品種特性			
[要約] 生育、収量、品質及び夏越し後の生存率から、水田転換畑における秋冬どり（年内）栽培には「夏扇4号」、「関羽一本太」、「ホワイトスター」、「森のめざめ」が適する。			
茨城県農業総合センター農業研究所	令和5年度	成果区分	技術情報

1. 背景・ねらい

米価の下落から県内の水稲複合経営体において、冬季の収益性を確保するために野菜類の中でも比較的単価が安定し需要の多い秋冬ネギの導入が進んでいる。ネギは水田転換畑で栽培した際に収量や品質が不安定になりやすいため、夏越しが良く収量性の高い品種の選定が産地から求められているが、本県の水田転換畑で栽培した場合の品種特性に関する知見はない。そこで、本県の畑における主要品種について水田転換畑における秋冬どり作型での品種特性を明らかにする。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「夏扇4号」、「関羽一本太」、「ホワイトスター」、「森のめざめ」、「夏扇タフナー」及び「龍まさり」は県標準収量の3,000kg/10a以上が得られる。その中でも、「夏扇4号」、「関羽一本太」、「ホワイトスター」及び「森のめざめ」は調製一本重が重く葉鞘径が太いため他の供試品種に比べて収量が多い（表1）。
- 2) 「夏扇4号」、「関羽一本太」、「ホワイトスター」、「森のめざめ」及び「龍まさり」は2L及びLの割合が高く、水田転換畑においても太物の収穫が可能である（図1）。
- 3) 「夏扇4号」、「ホワイトスター」、「森のめざめ」及び「夏扇タフナー」は夏越し後の生存株率が高い（図2）。
- 4) 以上、生育、収量、品質及び夏越し後の生存率から、水田転換畑における栽培には「夏扇4号」、「関羽一本太」、「ホワイトスター」、「森のめざめ」が適する。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 令和3～5年に、茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室（龍ヶ崎市、中粒質普通灰色低地土）の本暗渠が施工してある水田転換畑圃場において栽培した試験結果である。
- 2) 本試験は透水性がやや低い圃場（測定開始60分後のインタークレートがR4：1.2mm/h、R5：0.4mm/h）において排水対策無施工で行い、栽培期間中の土壌水分（体積含水率）は、平均値30.0%、最大値54.3%、最小値13.6%である。

4. 具体的データ

表 1 水田転換畑における供試品種の生育、収量

品種名	草丈 (cm)	調製一本重 (g)	軟白長 (cm)	葉鞘径 (cm)	可販収量 (kg/10a)
夏扇4号	87.7	121.9	29.0	18.6	3300
関羽一本太	82.9	107.2	27.9	18.9	3249
ホワイトスター	90.5	103.9	29.1	19.4	3200
森のめざめ	76.9	108.9	29.2	19.3	3195
夏扇タフナー	82.2	93.4	28.5	17.7	3012
龍まさり	87.4	101.5	28.5	18.2	3011
龍美	96.0	86.7	28.4	17.3	2501

注) 森のめざめは R4, 5 の平均値、その他の品種は R3~5 の平均値

定植日: 4/13 (R3)、4/11 (R4)、4/19 (R5)、収穫日: 11/30 (R3)、10/28 (R4)、11/13 (R5)

育苗: CP303 チェーンポット 2 粒播き、培養土(N成分) 600mg/L

畝間 90cm、移植間隔 5cm 施肥量 (kg/10a): 基肥 N:P₂O₅:K₂O=10.0:20.0:10.0 追肥 (1 回あたり)

N:P₂O₅:K₂O=5.0:0.0:5.0 を土寄せ時に 3 回 成熟葉を 3 枚残し、全長 58cm に調製した

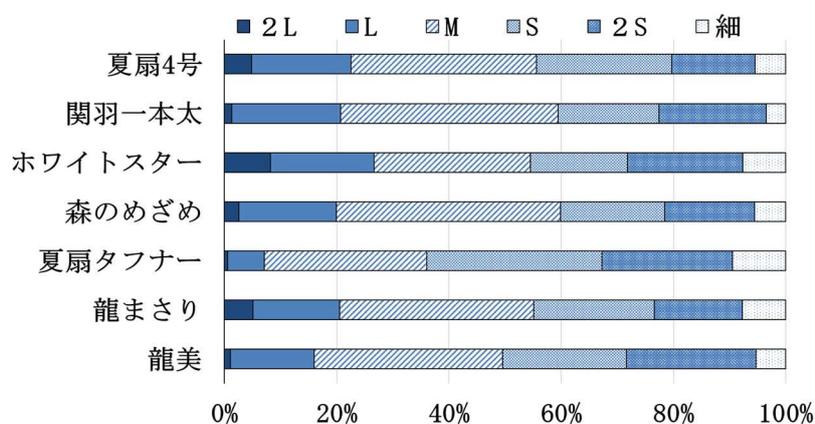


図 1 供試品種の規格別割合

森のめざめは R4, 5 の平均値、その他の品種は R3~5 の平均値

成熟葉を 3 枚残し、全長 58cm に調製した

2L: 23mm 以上、L: 20mm 以上~23mm 未満、M: 17mm 以上~20mm 未満、S: 15mm 以上~17mm 未満、2S: 12mm 以上~15mm 未満、細: 10mm 以上~12mm 未満 (茨城県青果物標準出荷規格)

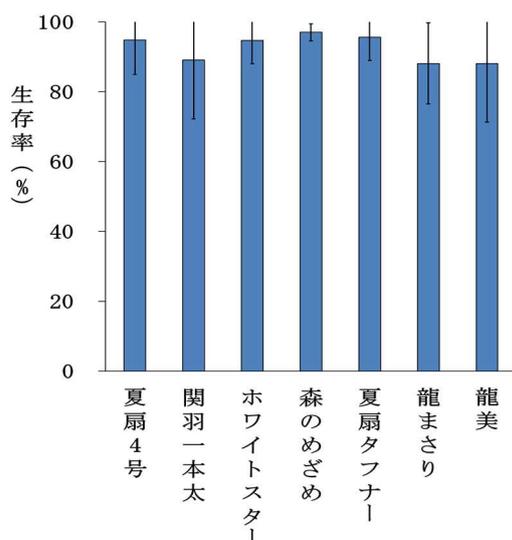


図 2 供試品種の生存率

森のめざめは R4, 5 の平均値、

その他の品種は R3~5 の平均値

生存率=(収穫時 m 当たり本数)/(定植時 m あたり本数)×100

エラーバーは標準偏差を示す

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

水田転作ネギにおける湿害回避技術と省力化作業体系の実証・令和 3 年度~令和 5 年度・水田利用研究室